

MLF における試料環境

Sample Environment in MLF

横尾哲也^{1*}, 河村聖子², 神原理², 中島健次², 梶本亮一², 中谷健², 鳥居周輝¹, 川北至信², 高田慎一², 金子耕士², 鈴木淳一²

J-PARC センター 高エネルギー加速器研究機構¹

J-PARC センター 日本原子力研究開発機構²

中性子散乱実験のような大型施設において実験試料周辺機器の環境（試料環境）の整備は非常に重要である。特に、試料環境における標準化を行うことで多数のビームラインによる、コストのかかる実験機器の有効利用が促進できれば施設として大きな利点となる。我々は試料環境チームとして、

- ・機器・装置の共有化による実験の効率化
- ・技術開発の経費や機器・装置の維持管理費の削減
- ・共通装置の利用による技術の共有化

を目指した標準化を検討し、その標準化規約の策定を行っている。また、施設として試料環境に関するワーキングエリアの整備を進め、電源の確保などを行っている。本エリアでは試料環境機器の試験・整備を行うが、将来的には開発も併せて行うことを目標とする。

本講演では、MLF における試料環境チームの活動報告と予定について報告する。